

**八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第2回会議 議事録**

開催日時	平成 27 年 11 月 16 日(月) 午後1時 30 分から午後3時 30 分まで	開催場所	別館B会議室
出席者 (敬称略)	(1号委員)福野幸央、平本なるみ、古庄正登、齋藤勝、右川清夫 (2号委員)多賀谷一照、仲田政司 (3号委員)野口ノリ子、宮弘美		
欠席者 (敬称略)	小林よし(1号委員)	傍聴者数	2人
審議内容及び審議結果の概要	<p>八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第2回会議</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 議 事               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)第1回会議議事録について</li> <li>(2)八潮市人口ビジョン(素案)について</li> <li>(3)八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について</li> </ol> </li> <li>3. その他</li> <li>4. 閉 会</li> </ol>		
提供資料	<p>八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第2回会議 次第</p> <p>資料1 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第1回会議議事録(未定稿)</p> <p>資料2 八潮市人口ビジョン(素案)</p> <p>資料3 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)</p> <p>資料4 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第1回会議でのご意見について</p> <p>追加資料 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第1回会議後のご意見について</p> <p>議事へのご意見について</p>		

## 【議事詳細】

### 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第2回会議

---

#### 1. 開会

#### 2. 議事

##### (1) 第1回会議議事録について

- ・ 事務局から、第1回会議議事録について説明した。
- ・ (会長) 第1回会議議事録について指摘などあるか。
- ・ (委員) 特になし。
- ・ (会長) 第1回会議議事録について確認された。

##### (2) 八潮市人口ビジョン(素案)について

- ・ 事務局から、八潮市人口ビジョン(素案)について説明した。
- ・ (会長) 八潮市人口ビジョン(素案)について質問などあるか。
- ・ (会長) 前回の審議会の際に事務局から第5次八潮市総合計画における将来目標人口は、10万人であり、それを達成できるような推計を行うという説明があったが、新たに推計された人口の将来展望を見ると2025年には100,067人、2060年には93,627人になる。国立社会保障人口問題研究所の推計と比べると思い切った計画となっている。計画を立てて八潮市として努力していけば数字に達する可能性はあるということだと思う。努力目標であり自然と達するというものではない。

##### (3) 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

- ・ 事務局から、八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)、第1回会議でのご意見と総合戦略(素案)における対応、第1回会議後のご意見と総合戦略(素案)における対応、今後のスケジュールとパブリックコメントの予定について説明した。
- ・ (会長) 基本目標1について意見はあるか。
- ・ (委員) 現在の八潮市ふるさとハローワークでの就労支援を必要とする求職者の人数は、どのくらいか。
- ・ (事務局) ハローワーク草加で把握している八潮市の求職者数では、月に1,000件程度となっている。
- ・ (副会長) 法人市民税納税義務者数の基準値が3,554人となっているが、ここ2、3年は増えているのか減っているのか。
- ・ (事務局) 平成25年以降は増加傾向にある。平成25～26年の増加数が約20人、平成26～27年の増加数が約70人ということで増加傾向に推移している。納税義務者数を増やすような取り組みをして、平成31年度の目標達成を目指す。
- ・ (委員) 農産物、工業製品についてブランド化という方向性が示されている。ブランド化にあたっては良いものを作ることが大前提だが、それ以上によく知ってもらうことが大切だろう。具体的には冊子を作るという事業が示されているが、市内外により幅広く知ってもらうための手段として、このほかに考えていることや想定できるものがあれば教えてほしい。

- ・ (事務局)市で認定制度等を活用しながら、よりよい商品を推奨していきたい。また、PR 方法については、市内の優良企業を冊子として取りまとめ、市内外に広く配信していきたい。また、全般的な商品の PR は、基本目標2の「人や情報の交流による[住みやすさナンバー1のまち八潮]の発信」において、市でも売りとなる商品を発掘し、ツイッター、フェイスブック、動画配信サイトなども活用して、広報事業の中で情報を発信していきたい。
- ・ (会長)基本目標 1 と基本目標2で、情報の交流に関する話が切り離されて見える。これだと情報の交流は住みやすさの話だけに見えてしまう。それだけではなく、農業や工業のブランド化の面でも情報をいかに発信していくかということが必要であるため、表現にもう少し工夫が必要である。
- ・ (委員)「工業振興事業」について、八潮市商工会の工業部会では「八潮のスゴ技」として2、3年に一回各企業の宣伝をするとともに、機会あるごとに展示会に参加しPRをしている。販路拡大、受注に繋がるマッチングをしたいので、毎年、5市1町の展示会を行っているが、今年度は三郷市の当番である。三郷市、草加市は、さいたまスーパーアリーナで行う、県や公益財団法人埼玉県産業振興公社などが主催する展示会の中で、5市1町の東部工業展を実施している。八潮市も同様の展示会を実施することが現時点では望ましい。また、八潮市にも、市内で生産される工業製品を全国に発信できるような展示施設があるとよい。東京ビックサイトや幕張メッセなどで開催される大規模な展示会に出展することによる効果と、八潮市内で細々と活動するのとでは、商談の成功率に格段の差がある。葛飾区では、毎年、東京国際フォーラムを区で借り上げて展示会を開催し、区内外の企業から出展してもらいマッチングを支援している。八潮市内の工業製品の活性化のためには、そのような支援もしてほしい。企業への出展費用補助が、現在の補助金では微々たる額であるため、その支援の増額も考えてほしい。
- ・ (委員)野菜をブランド化するということが、例えば、立派な直売所を作るなど、もう少し大きな規模でできないか。現在の場所では、どうなのだろうか。もっと人が集まる場所に作れないか。そういう計画はないのだろうか。
- ・ (事務局)直売所の整備という計画はない。より安全でおいしい野菜が作れるような有機肥料への補助や、ハッピーこまちゃんを使ったPRなどを進めていきたい。
- ・ (会長)直売所は、市の施設ではないのだろう。
- ・ (事務局)農協と協力して、農家が出品しているものである。
- ・ (副会長)他の地域の道の駅などでは、地域の農産物を出品している。八潮の農産物の直売所など、道の駅のようなものを市で作ることはできないか。
- ・ (事務局)道の駅については、現在、庁内で検討している。総合戦略は5年間の計画であり、即効性のある事業を位置づけるものである。まだ検討の初期段階であり、用地の取得や建設の問題もあることなので、現時点で戦略に位置づけるのは難しいと考えている。
- ・ (会長)KPI を設定して位置づけるのは、現段階では難しいということだろう。検討する旨を、努力目標のようなものでもいいので、事業内容に追加できないか、ということだと思う。
- ・ (委員)八潮の野菜を PR したいのであれば、そういう場所が必要だと思う。文章だけで発信するのではなく、物がある場所に人は集まる。検討しているのであれば、計画に盛り込んでほしい。
- ・ (委員)「商業支援事業」における「市内の商業支援や後継者確保のため、交歓・交流イベントの開催等を支援する」とはどういったものを想定しているのか。また、工業や農業についてもこういったものを考えていないのか。
- ・ (事務局)市内の産業における後継者確保のため、まちコンなどのような出会いの場を設定する事

業を想定している。また、イベントを行うことで市内の商店・飲食店などが活用され、活性化にもつながるものと考え、商業に位置づけた。農業、工業の後継者についても出合いの場は必要であると考えており、それらも含めた支援として発展させていきたいと考えている。

- ・ (会長)基本目標2について意見はあるか。
- ・ (委員)観光資源来訪者数は、基準値が8万人、目標値が19.5万人となっているが、目標値が少ないのではないか。今年、中川やしおフラワーパークで開催した花桃まつりにおける1か月間の来場者が37,840人、その中で2日間のイベントだけで24,000人の来場者があった。その隣に中川やしお水辺の楽校も半年前に開校しているが、まだ認知度が低いので、次年度は中川やしおフラワーパークの祭りに合わせたイベント開催を考え、さらなる来場者の増加を期待している。中川やしおフラワーパークでは、休日にはバーベキューなどで来場する人も増えており、平日には市外の介護施設などからも大勢の人たちがバスで来ているので、来場者がさらに増えるのではと考えている。完成後1年が経つやしお駅前公園での夜市と盆踊り大会では2日間で75,000人の参加者があった。今後は企業や様々な団体、学校にもイベントに参加してもらえたらと考えている。例えば、5校ある中学校の文化祭を駅前公園で同時開催できないか。子どもたちが企画した文化祭に一般市民にも参加してもらうことで、地域住民との交流のきっかけにもなる。子どもたちも地域への関心が高まり、八潮に住み続けたいと思うようになるのではないか。実現には、ハードルもあると思うが、総合戦略の目玉のイベントとして考えてもらえないか。実例として、やしお市民まつりでは子どもたちが自ら企画する学校対抗クイズ大会も盛況である。また、1日警察署長に小学生男女1名が選ばれ、自転車のマナー向上、振り込め詐欺被害防止の啓発活動を行った。これらのことを踏まえると、数値目標はもう少し高く、倍以上にしても良いのではないか。
- ・ (事務局)観光資源来訪者数は、実績を踏まえながら設定した数値である。今後、新たなイベント等の展開も予定されているとのことなので、再度、目標値は検討する。
- ・ (委員)自転車を活用した市内のアクセスを考えたほうがよい。つくばエクスプレス八潮駅までの交通アクセスは、環境にやさしいものにしようとして活動してきた。県道115号線などは、自転車の通れるような道がなく歩道も狭い。自転車でのアクセスを考えた交通網を検討してほしい。せっかく中川やしおフラワーパークが形をなしてきているところなので、中川からのサイクリングロードを整備して、全国から自転車に興味のある若い人が集えるようなものにしてほしい。八潮から自転車の競技大会などを発信し、若い人に来てもらい、八潮市を知ってもらう努力も必要ではないか。
- ・ (事務局)まずは、八潮市を知ってもらうためには来ていただかなければならないと考えている。観光資源開発事業にあるように、中川やしおフラワーパーク、中川やしお水辺の楽校、やしお駅前公園などの八潮市の財産を活用しながら、人を呼び込めるようなイベントを進めていきたいと考えている。自転車等が安全に通れる交通整備については、継続的な事業として、第5次八潮市総合計画の中で安全な交通網の整備として取り組んでいきたい。
- ・ (委員)柳之宮橋からけやき通りへの道路は、いつごろできるのか。県道松戸草加線の狭い道へ自動車が入り込んでくる。園児が狭い道を通っており、このままでは交通事故が増える一方なので、行政として働きかけるべきところへ働きかけ、八潮市の交通事故を減らす努力をしてほしい。柳之宮橋には片側しか歩道がないので非常に危険である。
- ・ (事務局)現在、柳之宮橋から市役所の方への道路は区画整理事業の中で開通させようとしているが、事業が動き出してから相当の時間がかかっている。柳之宮橋については、埼玉県が行う事業

であり、橋の架け替えの調整や地盤の高さの調整など、埼玉県と調整を進めていると聞いている。完成年度については担当課に確認する。道路の整備が優先事項であることは把握している。

- ・ (委員)「住みやすさナンバー1のまち八潮」の「住みやすさ」とは、何か。住み続けたいと思う人を増やそうというのは、今住んでいる人がこれからもずっと八潮に住み続けたいと思ってもらうことであると思うが、住みやすさには、それをとりまく観光事業や、子育て環境、安全安心なコミュニティ、商業施設の充実、利便性の高さ、区画整理による住環境など、いろいろな項目がある。そうした中で、八潮市の強みと弱みを整理した上で、八潮市が住みやすさナンバー1として、どの強みをより伸ばし、弱みを改善していくのかを選択し、その取り組みをしっかりと発信してほしい。
- ・ (委員)東京都に住んでいる子どもたちの医療費は、中学生まで無料らしい。しかし、八潮市は1割負担である。このあたりから変えていかないと、転入が少なくなるのではないか。
- ・ (事務局)子どもの医療費に関しては、埼玉県内の自治体でも中学生まで無料の自治体のほうが多いが、八潮市では1割の負担をお願いしている。市としての財政状況も踏まえながら検討していくとともに、待機児童の解消などその他の課題への対応も進めていく。
- ・ (副会長)ピロリ菌に関しても、八潮市は保険の対象にならなかった気がする。子どもだけでなく大人のことについても、格差のないようにしてほしい。
- ・ (委員)財源があれば何でもできるだろうが、現実的には、なかなか難しいのも理解できる。花桃まつりの際も中川やしおフラワーパークまで駅から歩いていくのには不便である。高速道路の下の歩道をランナーが走りやすいように整備してはどうか。ウォーキングもでき自転車も走れるグリーンベルトにするなど、若者だけではなく、高齢者も住みやすいまちになるといい。八潮っていいなと思われるような、きれいなまちに住みたい。中川という八潮の財産をもっと活かしたらよい。
- ・ (委員)中川だけでなく、綾瀬川もお願いしたい。
- ・ (会長)基本目標2については、外から見た観光資源が強調されているように見え、住んでいる人にとっての住みやすさというイメージが足りないのではないかという意見だと思う。表現を工夫してほしい。
- ・ (会長)基本目標3について意見はあるか。
- ・ (委員)小学生くらいまでの子どものことしか書かれていない。中学生、高校生などの居場所作りはどうなっているのか。
- ・ (事務局)基本目標2の「コミュニティ施設整備事業」で、小さな子どもだけでなく、市民誰もが気軽に交流できるようサロンスペースを市内に確保するとともに、利用のためのルールの検討を行うことで、中高生の居場所を確保する。
- ・ (委員)サロンスペースの目標値に7か所と記してあるが、場所は決まっているのか。また、事業内容の文章について、青少年が含まれていることが伝わるようにしてほしい。
- ・ (事務局)具体的な場所は決まっていない。公共施設や民間施設に交渉しながら、場所の確保を図っていく。
- ・ (委員)「家庭教育推進事業」の事業内容にある「自尊感情」は難しいのではないか。「道徳」という言葉を入れるなど、表現をわかりやすく変えられないのか。
- ・ (事務局)「自分が大切な存在であることを知る」ということである。親がどういう思いで自分を育ててくれたかを知り、自分の大切さがわかると他人に対してもやさしさが芽生える。現在もすべての中学校、一部の小学校を対象に、いのちの授業として実施している。授業の中で、妊婦さんや産まれ

たばかりの赤ちゃんに実際に学校に来てもらい、児童・生徒と触れ合ってもらうことで身をもって子どもの大切さを知ってもらうものである。

- ・ (委員)八潮の小学校では、一般の方の授業参観を受け入れる制度はあるのか。
- ・ (委員)公開授業は、八潮高校と八潮南高校では行っているが、小学校や中学校は、わからない。私も「いのちの授業」を実際に聞きに行ったことがあるが、大変感動した。大人が聞いても良い授業である。もっと、PRしてもよいと思うし、八潮として誇れるものであると思う。
- ・ (委員)市内小中学校では公開授業を行っており、一般の方も参加できる。
- ・ (委員)せっかくいい取組を行っているのに、知る機会が少ないのだと思う。
- ・ (委員)学校では、近隣に対し、回覧でお知らせを行っている。
  
- ・ (会長)基本目標4について意見はあるか。
- ・ (副会長)数値目標の町会・自治会等の地域活動への参加率の基準値 32.6%は、何を根拠とした数値か。
- ・ (事務局)市民意識調査において、「町会・自治会等の地域活動にどれくらい参加しているか」を問う設問を設定し、把握している数値である。
- ・ (委員)商工会で、クリーン活動を行っている。防犯カメラを設置することによって、ごみを捨てる人が減ると思う。人の見ていないところには、粗大ごみが捨てられやすい。捨てられそうな場所は決まっているので、不法投棄という犯罪を取り締まる意味でも、防犯カメラを設置し警察に知らせが行くようにできないか。八潮市は、街路灯も暗いので、できるだけ明るいものにできないか。近隣の自治体では防犯カメラの設置でゴミが減った実績もある。
- ・ (委員)県の管轄かもしれないが、植栽がないほうが歩道も広くなるし、ごみも捨てられなくてよいのではないか。歩道に対して、植栽の幅が広すぎるのではないかと感じる。
- ・ (委員)防犯カメラは一基あたりどれくらいの金額か。
- ・ (事務局)防犯カメラ設置の具体的な金額は把握していない。犯罪の抑止力が認識されており、計画としては、学校の周辺から優先的に設置していきたいと考えている。
- ・ (副会長)具体的な施策を実施すると、結果的に数値目標があがると考えるのか。数値目標は数値目標で独立しているのか。例えば、交通安全教室を基準値1校から目標値である2校に上げるなどの具体的な施策を積み上げていくと交通事故発生件数が528件から510件に下がるなど数値の関連性があるのか。
- ・ (事務局)数値目標は、八潮市が目指すべきところであり、それを達成するために個別の事業を設定している。事業を推進していくことで、結果的に数値目標が達成されると考えている。
- ・ (会長)KPI はアウトプット指標、数値目標はアウトカム指標である。基本目標2は、両方アウトカム指標となっているので、整理が必要かもしれない。基本目標2については、設定が難しいかもしれないが検討してみしてほしい。
  
- ・ (会長)全体を通して意見はあるか。
- ・ (委員)お見合いパーティにも取り組んではどうか。市内の産業における後継者確保という意味もあるのだろうが、具体的に何か始めていかないと、八潮の人口減少が心配である。
- ・ (副会長)婚活支援は他地域の事例でも盛況のようである。運動会などの交流の機会を行政でセッティングし開催したイベントでは、参加者の1割くらいがカップル成立したという話を聞いた。

- ・ (委員)観光協会、商工会、農協などで協力して、婚活イベントをやっていこうという動きがあるようだ。
- ・ (会長)本日、指摘いただいた意見の中で、事務局において協議する必要があるものがあつた。しかし、パブリックコメントを 12 月1日から実施したいという事務局からの説明もあるため、本日の審議の中で、事務局が検討するとした指摘については、パブリックコメントにおける意見とあわせて検討してもらい、次回の会議で対応を報告してもらおうということによろしいか。
- ・ (委員)異議なし。

### 3. その他

(事務局)次回会議は、2月15日(月)午後1時30分から、別館B会議室において開催を予定している。また、本日の議事について追加で意見等があれば、配布した「議事へのご意見について」により、11月27日までに事務局へ提出をお願いする。

### 4. 閉会

以上